

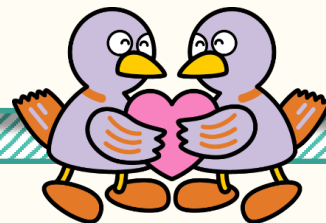
埼玉県災害時学校支援 チーム（D-EST埼玉） を設置しました！



災害時学校支援チーム(D-EST埼玉)とは

令和6年能登半島地震では、学校の校舎やグラウンド等が被害を受け、教職員も被災者となる中、多くの学校で避難所が開設され、学校再開に必要な人員が不足しました。

こうした背景の中、国（文部科学省）は、今後の大規模災害に備え、被災地での速やかな学びの確保を図るため、「被災地学び支援派遣等枠組み（D-EST）」の構築を目指しています。本枠組みの一環として、埼玉県教育委員会においても令和7年10月21日に災害時学校支援チームを設置しました。



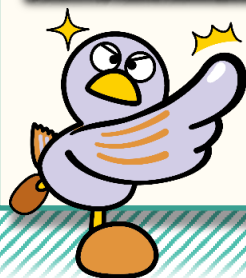
チーム員養成研修の実施①

埼玉県災害時学校支援チーム（D-EST埼玉）のチーム員として、大規模災害時の学校運営や災害に対する知識や技術を身に付け、学びの継続や学校の早期再開に向けた支援を行うことのできる教職員を育成するため、さいたま市を除く小中学校等、県立学校及び事務局職員からチーム員を募集し、養成研修を全3回に分けて実施しました。第1～2回目はオンライン研修、第3回は「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」で実地研修を行いました。



チーム員養成研修の実施②

第3回では、公認心理師協会の方や被災地支援の先進県である兵庫県の「震災・学校支援チーム（EARTH）」の方にお越しいただき、被災地における児童生徒等の心のケアや学校現場での行動・考え方などのノウハウについて、ロールプレイングやグループワークを行うとともに、「能美防災そなえ 埼玉県防災学習センター」の施設内にある地震体験や消火体験など、災害及びその対応についても学びました。



認定式の様子

全3回のチーム員養成研修を修了した30名は、認定書を受け取り、チーム員として認定されました。今後県内及び県外で大規模災害等が発生した際には、養成研修を通して学んだノウハウを被災地で発揮し、現地の学校の早期再開に寄与できるよう活動してまいります。

なお、次年度以降も継続的にチーム員を募集のうえ養成研修を実施し、拡大を図る予定です。



城跡見学シーズン到来！ 県立嵐山史跡の博物館

嵐山史跡の博物館が所在する菅谷館跡は、鎌倉時代の武士である畠山重忠の館跡の伝承を持ち、戦国時代には城として使われました。現在見られる姿は戦国時代のものと考えられ、本郭を中心とした5つの郭からなる城の遺構が非常によく残っています。戦国時代の城の多くは、地面を掘って堀をつくり、土を積み上げて土塁を築いた「土の城」でした。菅谷館跡でも規模の大きな土塁や堀が設けられており、見どころとなっています。

菅谷館跡では年間を通じて見学環境を整えていますが、城跡の見頃は何といっても草木が枯れ、遺構がはっきり見えるようになる冬です。近年では戦国時代の城跡への注目が高まっており、多くの人が思い思いに散策や見学を楽しんでいます。県内には、菅谷館跡を含む国指定史跡「比企城館跡群」をはじめ、著名な戦国時代の城跡が多く残ります。もうすぐやってくる見頃シーズンには、身近な場所から城跡めぐりを始めてはいかがでしょうか。



県立嵐山史跡の博物館 電話：0493-62-5896

迫力ある菅谷館跡の土塁と堀

令和7年度埼玉県教育委員会表彰

(教育功労者等表彰・優秀な教職員表彰)

令和7年度埼玉県教育委員会表彰（教育功労者等表彰・優秀な教職員表彰）の被表彰者を決定し、表彰式を実施しました。

教育功労者及び優良教育施設・団体表彰

教育功労者64人及び優良教育施設1施設が埼玉県教育委員会表彰を受けました。



<学校教育関係>

役職名	氏名	功績
川口市立本町小学校長	高宮 明洋	学校教育に貢献
上尾市立中央小学校長	太田 光登	〃
上尾市立大石北小学校長	瀧沢 葉子	〃
草加市立高砂小学校長	河野 健	〃
草加市立新田小学校長	嶋田 弘之	〃
桶川市立桶川東小学校長	吉田 泰宏	〃
川越市立中央小学校長	福島 みどり	〃
川越市立寺尾小学校長	横山 敦子	〃
狭山市立入間川小学校長	伊藤 秀一	〃
鳩山町立亀井小学校長	千装 将志	〃
熊谷市立熊谷東小学校長	吉野 富夫	〃
熊谷市立妻沼西小学校長	大谷 裕紀	〃
本庄市立児玉小学校長	諏訪 慎一	〃
羽生市立新郷第二小学校長	駒宮 恵美子	〃
八潮市立八條北小学校長	山村 一晃	〃
草加市立草加中学校長	小松 薫樹	〃
北本市立西中学校長	原口 穰	〃
伊奈町立小針中学校長	日野 昭彦	〃
入間市立向原中学校長	遠藤 敏	〃
深谷市立深谷中学校長	齊藤 寛	〃
羽生市立東中学校長	福田 和己	〃
越谷市立中央中学校長	石山 秀樹	〃
越谷市立新栄中学校長	原田 肇子	〃
八潮市立八條中学校長	檜田 勝巳	〃
蓮田市立黒浜西中学校長	檜田 光東	〃
日高市立武蔵台小中学校長	秋馬 信之	〃

<社会体育関係>

役職名	氏名	功績
埼玉県バドミントン協会副会長	成田 進	社会体育に貢献

<社会教育関係>

役職名	氏名	功績
一般社団法人埼玉県子ども連合会副会長	比企 孝司	社会教育に貢献

役職名	氏名	功績
県立浦和高等学校長	臼倉 克典	学校教育に貢献
県立浦和商业高等学校長	中山 望	〃
県立大宮東高等学校長	齋藤 明博	〃
県立川越工業高等学校長	染谷 明生	〃
県立熊谷女子高等学校長	栗藤 義明	〃
県立秩父高等学校長	守屋 和昭	〃
県立常盤高等学校長	嶋志田 新一	〃
県立不動岡高等学校長	関根 憲夫	〃
県立本庄高等学校長	小林 美奈子	〃
県立特別支援学校大宮ろう学園校長	原田 篤	〃
元志木市立宗岡小学校学校医	内田 邦明	学校保健に貢献
元川越市立古谷小学校学校医	秋元 純	〃
春日部市立武里西小学校学校医	真野 敏明	〃
元上尾市立大石中学校学校医	村田 宏明	〃
鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校学校医	小川 公男	〃
県立入間向陽高等学校学校医	澤田 政道	〃
本庄市立本庄西小学校学校歯科医	竹内 靖	〃
加須市立不動岡小学校学校歯科医	増田 幸樹	〃
越谷市立大袋東小学校学校歯科医	西脇 隆佐	〃
上尾市立大石南中学校学校歯科医	齋藤 和宏	〃
東松山市立白山中学校学校薬剤師	杉山 宣男	〃
元熊谷市立玉井中学校学校薬剤師	深澤 信一	〃

<芸術・文化関係>

役職名	氏名	功績
埼玉文芸賞選考委員	野村 喜和夫	芸術・文化に貢献

<文化財保護関係>

役職名	氏名	功績
鷲宮権馬楽神楽保存会会長	横島 昇	文化財保護に貢献

<私学教育関係>

役職名	氏名	功績
学校法人明の星学園理事長	島村 新	私学教育に貢献

<教育行政関係>

役職名	氏名	功績
県教育局県立学校部高校改革統括監兼参事	依田 英樹	教育行政に貢献
県教育局市町村支援部長	吉田 勇	"
県埋蔵文化財調査事業団理事長	加藤 健次	"
県教育局教育総務部参事兼文化財・博物館課長	飯田 徹	"
県立総合教育センター所長	馬場 敏男	"
県立熊谷図書館長	小西 康雄	"
県立歴史と民俗の博物館長	栗岡 眞理子	"
嵐山町教育委員会教育長	下村 治	"
鳩山町教育委員会教育長	宮崎 宣男	"
東秩父村教育委員会教育長	小林 洋介	"
上里町教育委員会教育長	齊藤 雅男	"

<優良教育施設・団体>

施設名	代表者名	功績
さいたま市 大宮盆栽美術館	清水 一郎	<p>開館以来、多様な観点から、盆栽を中心とした資料の収集、調査及び研究に努め、得られた成果を通常展、企画展・特別展及び関連事業を通じて、分かりやすく公表してきた。特に令和7年度は、大宮盆栽村100周年を記念し、改めて盆栽村の歴史を振り返る特別展の開催などに取り組んでいる。</p> <p>また、普及事業も活発であり、盆栽ワークショップをはじめとする各種講座や学校との連携事業などを数多く開催している。</p> <p>さらに、「さいたま国際盆栽アカデミー」の開講や国際交流事業も展開している。今では、さいたま市の有名な観光拠点の一つとなっており、盆栽に親しむきっかけを作ること、地域の盆栽産業の活性化にも寄与している。</p> <p>なお、令和6年度は、施設改修に伴う4か月余りの休館期間があったにもかかわらず、国内外から4万人を超える多くの人々が来館した。</p>

【問合せ】総務課 人事（事務局等）担当
（電話：048-830-6622）

優秀な教職員表彰

はつらつ教職員表彰部門
れんたつ教職員表彰部門

今回は、99人が候補者として推薦され、選考の結果、56人(小学校33人、中学校8人、高等学校10人、県立特別支援学校5人)の教職員が埼玉県教育委員会表彰を受けました。

<小学校>

学校名	職名	氏名(表彰部門)	分野等
川口・芝西小	教諭	山内 裕貴(は)	各教科(体育)
蕨・北小	教諭	花岡 隼佑(は)	校務分掌(教務主任)
草加・両新田小	教諭	松浦 正樹(は)	各教科(算数)
朝霞・朝霞第五小	教諭	高橋 諒(は)	学年・学級経営
新座・八石小	教諭	島崎 斐可(は)	各教科(外国語)
和光・第四小	教諭	本間 麻衣(は)	各教科(国語)
北本・石戸小	事務主査	河野 晃廣(は)	学校事務
上尾・西小	教諭	前島 俊介(は)	校務分掌(副教務)
桶川・加納小	教諭	野沢 俊介(は)	校務分掌(情報教育)
伊奈・小針北小	教諭	阿久津直人(は)	総合的な学習の時間
毛呂山・泉野小	教諭	綿貫 聡(は)	各教科(体育)
東松山・高坂小	教諭	山崎 朋代(は)	標準的教科(英語)
小川・八和田小	教諭	矢嶋 和幸(は)	校務分掌(情報教育)
坂戸・入西小	教諭	佐藤 弘子(は)	学年・学級経営
滑川・宮前小	教諭	中島留未子(は)	特別の教科 道徳
ふじみ野・西原小	教諭	榊原 聖美(は)	特別活動
嵐山・菅谷小	教諭	井上 容子(は)	その他(通級指導)
川越・寺尾小	教諭	持田 亯理(は)	特別活動
秩父・花の木小	教諭	川野辺昌史(は)	各教科(体育)
寄居・鉢形小	教諭	木村 洋介(は)	特別の教科 道徳
深谷・八基小	教諭	金井 涼(は)	各教科(音楽)

学校名	職名	氏名(表彰部門)	分野等
久喜・砂原小	教諭	北崎 弥生(は)	学校教育目標の具現化
松伏・松伏第二小	養護教諭	栗原 梨沙(は)	保健教育、保健管理、保健室運営
吉川・関小	養護教諭	亀井 道子(は)	保健教育、保健管理、保健室運営
三郷・新和小	事務主幹	望月 直和(は)	学校事務
羽生・羽生東小	教諭	山田 雅代(は)	学年・学級経営
鴻巣・松原小	教諭	平原 知子(れ)	特別の教科 道徳
富士見・関沢小	教諭	石井 優子(れ)	各教科(音楽)
吉見・北小	教諭	砂永 牧子(れ)	特別活動
幸手・さかえ小	養護教諭	布施美奈子(れ)	保健教育、保健管理、保健室運営
八潮・大原小	教諭	村田 薫(れ)	校務分掌
加須・田ヶ谷小	栄養教諭	岡田 美保(れ)	学校給食
春日部・武里西小	教諭	平栗 彰子(れ)	各教科(図工)



<中学校>

学校名	職名	氏名(表彰部門)	分野等
戸田・美笹中	教諭	黄木 歩美(は)	各教科(理科)
入間・豊岡中	教諭	山崎真菜美(は)	各教科(数学)
熊谷・中条中	教諭	大平 悠太(は)	特別活動
蓮田・蓮田南中	教諭	高橋 裕子(は)	各教科(外国語)
越谷・北中	教諭	高屋佳奈子(は)	自立活動
上尾・東中	教諭	飯田 明美(れ)	各教科(特別支援)
東秩父・東秩父中	栄養教諭	池田 和江(れ)	学校給食
秩父・影森中	事務主幹	金室 将和(れ)	学校事務

<特別支援学校>

学校名	職名	氏名(表彰部門)	分野等
草加かがやき特別支援学校	教諭	高川 絵里(は)	自立活動
毛呂山特別支援学校	教諭	北村くるみ(は)	地域との協働
特別支援学校坂戸ろう学園	教諭	廣瀬 彩奈(は)	学校教育目標の具現化
上尾かしの木特別支援学校	教諭	土屋 梓(は)	その他(関係機関連携・コーディネーター等)
春日部特別支援学校	教諭	佐藤 知美(は)	校務分掌(自立活動・民間企業連携)

<高等学校>

学校名	職名	氏名(表彰部門)	分野等
朝霞高校	教諭	浅見 和寿(は)	総合的な探究の時間
飯能高校	教諭	白木 奈望(は)	校務分掌(進路指導・特進クラス)
富士見高校	教諭	宮澤 卓弥(は)	その他(地域連携・書道等)
秩父農工科学高校	教諭	斎藤 晴樹(は)	学校教育目標の具現化
皆野高等学校	教諭	千島 拓実(は)	地域との協働
狭山経済高校	教諭	儀保麻衣子(は)	地域との協働
杉戸高校	教諭	齊藤 友和(れ)	校務分掌(教務・広報活動)
桶川高校	教諭	松崎 真(れ)	その他(生徒指導体制の確立等)
川越高校	業務主任	上田 光康(れ)	その他(学校環境改善等)
大宮工業高校	教諭	吉村 公利(れ)	校務分掌(教務・地域連携)

※氏名の後の(は)は「はつらつ教職員表彰部門」を
(れ)は「れんたつ教職員表彰部門」を表します。

【問合せ】小中学校人事課 管理指導担当(電話:048-830-6933)

県立学校人事課 管理指導担当(電話:048-830-6726)

図書館と県民のつどい埼玉2025 ～参加無料の県内最大級の図書館イベント～

令和7年12月14日(日曜日)、「図書館と県民のつどい埼玉2025」を埼玉県教育委員会、埼玉県図書館協会等の主催により開催します。

この事業は、図書館や本に興味を持っていただくことを目的に毎年開催しており、今年で19回目の開催となります。

今回は、中学生による熱い書評合戦「ビブリオバトル」や、学校図書館講座・わらべうた実践講座・ブックケア講座などの各種講座、様々な図書館による体験・展示のほか、会場を巡る「謎解き」も…本に関わるイベントが盛りだくさんの1日です。

全てのイベントは参加費無料、どなたでも参加できます。ぜひ、お気軽に御来場ください。詳細はウェブサイトをご確認ください。

※学校図書館講座・わらべうた実践講座・ブックケア講座の参加受付は終了しております。

日時

令和7年12月14日(日曜日)
11:00～16:00

会場

桶川市民ホール・さいたま文学館
(埼玉県桶川市若宮1-5-9)

内容

01

中学生のビブリオバトル決勝
(午前中の予選は非公開)

02

こども読書活動交流集会
・学校図書館講座(事前申込)
・わらべうた実践講座(事前申込)
・こどもの本のひろば

03

図書館展示(公共図書館・高校図書館・大学図書館)
暗号やパズルを解いていく謎解きや本の修理に役立つ体験、立体オーナメントづくりなど、多くの体験ブースも楽しめます。当日参加可能ですので、ぜひお越しください。



イベントウェブサイト

<https://www.sailib.net/tudoi2025/>

【問合せ】県立熊谷図書館

(電話:048-523-6291 メール:k2362911@pref.saitama.lg.jp)

工業高校と地域による未来共創プロジェクト事業

事業の概要

高校教育指導課

本事業は、地域における産業界等と高校が有機的に連携することにより、最新技術や企業のDX化への流れに対応できる専門教育を実践し、地域産業を担う人材を継続的に育成・輩出を目指します。

令和6年度まで国の指定事業である「マイスター・ハイスクール事業」を推進していた大宮工業高校を「先導校」と称し、その取組を県内東西南北4つの地域にある工業高校を「拠点校」として展開していきます。

各学校は、配置しているコーディネーターと共にコンソーシアムを構築し、地域における産業界等との持続的な連携体制を確立することにより、産業界等と連携したカリキュラムを研究・開発・実施します。

内容

1 コーディネーターの配置

企業や大学等の新規開拓や連携をサポートするコーディネーターを配置します。

2 コンソーシアムの構築

学校と産業界等との持続的な連携体制の確立や、学校の魅力を発信するため、地元企業の代表者、保護者、中学校教員等を構成員としたコンソーシアムを構築します。

3 産業界等と連携した取組の実施

産業界等と連携した先端技術を学ぶ授業やカリキュラムの研究・開発、教員を対象とした実技講習会を実施します。

配置するコーディネーターと 所属する工業高校

東西南北地域の工業高校と コーディネーター

- (1) 経営コンサルタント
(川越工業高校)
- (2) 製造業出身の卒業生
(熊谷工業高校)
- (3) 公共職業安定所の元職員
(川口工業高校)
- (4) 報道関係事業者取締役
(三郷工業技術高校)

成果発表会

各学校の実践発表

日時：令和8年1月30日（金）
13：30～

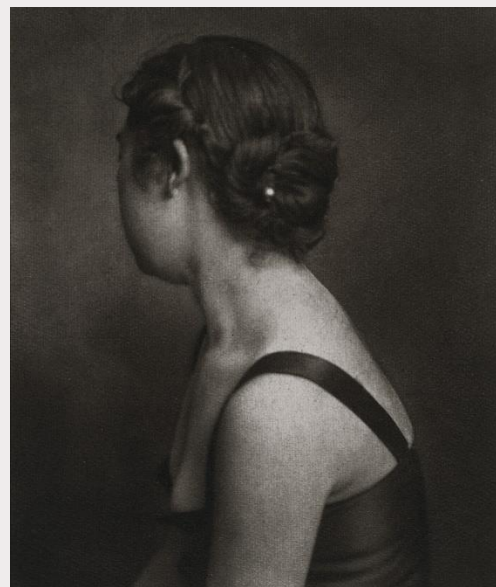
会場：RaiBoC Hallレイボックホール
(市民会館おおみや) 小ホール

※オンライン配信も予定

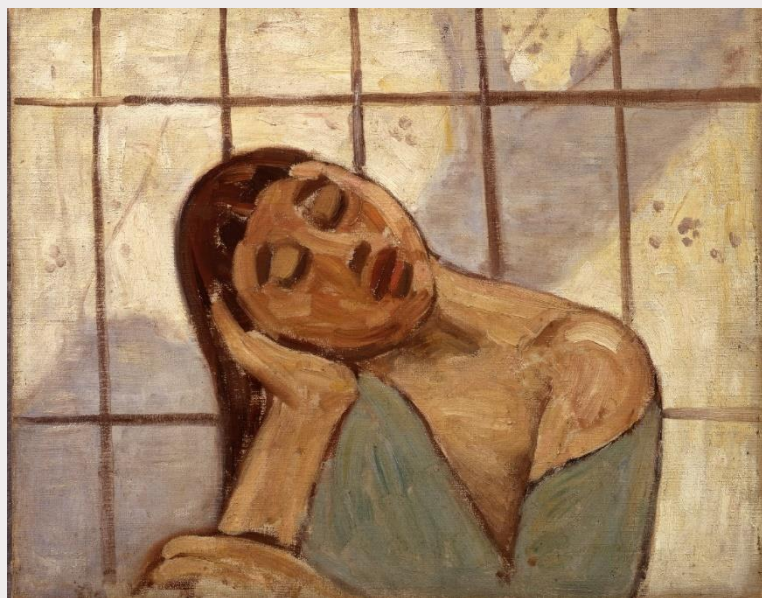
埼玉県立近代美術館 企画展 「野島康三と斎藤与里—美を掴む手、美を興す眼—」

埼玉県立近代美術館では、令和7年11月1日（土曜日）から令和8年1月18日（日曜日）まで、企画展「野島康三と斎藤与里—美を掴む手、美を興す眼—」を開催します。

浦和出身の写真家・野島康三（のじまやすぞう／1889-1964）は、明治末期から大正期にかけて、「芸術写真」と呼ばれた潮流のもと、絵画からの影響を受けつつも写真ならではの表現を追究しました。1930年代には「新興写真」という新たな動向に身を置いて作品を発表します。野島は写真家として活動する一方、多くの芸術家と交流し、自らが経営する画廊・兜屋画堂や自邸での展覧会の開催、出版物における美術品の撮影の仕事などを手がけました。



野島康三《題名不詳》1921年
ガム・プリント | 京都国立近代美術館蔵



斎藤与里《法々華経》1909年頃
油彩、カンヴァス | 碌山美術館蔵

洋画家・斎藤与里（さいとうより／1885-1959）は加須に生まれ、京都で洋画を学びました。1906年にはフランスに留学し、帰国後は雑誌『白樺』や『早稲田文学』などに評論を寄せながら、西洋の芸術思潮から刺激を受けた作品を発表し、新傾向の美術を紹介していきます。やがて日本の風土に根差した油彩画を追い求め、晩年は故郷の加須で伸びやかな表現を開花させました。

本展覧会では、ともに埼玉県にゆかりをもつ野島と斎藤の大正期における交流を起点に、それぞれの足跡をたどるとともに、岸田劉生、萬鉄五郎、関根正二など関連作家の作品や資料を交えて、両者が美術へ注いだ眼差しにも光を当てます。

Information

●会期：令和7年11月1日（土）～
令和8年1月18日（日）

●開館時間：午前10時～午後5時30分
（展示室への入場は午後5時まで）

●休館日：月曜日（ただし、11月3日、
11月24日、1月12日は開館）
12月30日（火）～1月3日（土）

●観覧料：一般 1400円（1120円）、
大高生 1120円（900円）
※（ ）内は20名以上の団体料金